



発行 特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス  
〒522-0043 彦根市小泉町 300-9 サンロードビル 2F  
(TEL) 0749-27-9777, 21-0664 (FAX) 27-9888  
E-mail popohouse@nifty.com

## 登場！相談員さん〜ん！！！！ パート

彦根市北老人福祉センターは、60歳以上の方が利用できる施設で、馬場1丁目5-5にあり、昨年4月からNPO ぽぽハウスが指定管理者を受けています。

\*\*\*彦根市北老人福祉センターハピネスひこねの【相談員】さんからの一言です\*\*\*

### 「ピンチはチャンス」

昨年4月から「彦根市北老人福祉センター」で相談員をしています。

私は辛い時、苦しい時に「朝の来ない夜はない」とか「人生、苦あれば楽あり」など唱えて乗りきってきました。「月にむら雲、花に風」「禍福はあざなえる縄の如し」などという格言もあります。「人間万事塞翁が馬」という言葉を高校の漢文で習った時は、中国の人も発想は同じだな思ったことを覚えています。

NPO活動をするようになって「ピンチはチャンスだ」という言葉に出会いました。逆転の発想ということですが「苦あれば楽あり」より、ずっと前向きで積極的な言葉だと気に入っています。人生のピンチをチャンスにするには物事を多面的に見る、自分を客観視できる柔らかな頭が必要です。年々硬くなる頭と身体をいかに柔らかくするのが私の今後の課題です。

ひとりで解決できないことは、悩まず気軽にご相談ください。相談することで情報や解決の糸口が見つかることもあります。「誰もが住みやすいまち」をめざして、少しでもお役にたちたいと願っています。

【 相談員 大山 】

### 「健康相談員になって」

昨年4月より、毎月第4木曜日に、彦根市北老人福祉センターで「健康相談」をしています。血圧・体重測定・検尿をし、体についての相談を受けています。

当初は健康相談など適切にできるかどうか不安がありましたが、ハピネスを利用される高齢者のみなさんはとても元気な方達ばかりで、毎回いろんなお話を聞かせていただき、私の方が楽しく勉強をさせてもらっています。

又、ハピネスに通って来られるみなさんは、健康に対する意識も高く、体に気になる事があればきちんと受診されており、とてもうれしく思います。

これからどんどん高齢化社会となり、ハピネスが果たす役割も大きくなると思います。高齢者のみなさんがいつまでもお元気で、生き生きと暮らせる彦根になるよう、又私達の老後のために日々学んでいきたいと思っています。

【 相談員 岡本 】

**後期** No.56の“ぽぽだより”に不都合な写真を掲載しましたので 急遽 写真を掲載し直して再発行しています。いろいろな人達の立場や気持ちに寄りそう活動を心がけている私達が 配慮を欠く写真を掲載した事を 心よりお詫びします。

【 誰もが「生きていてよかった」といえる街づくり 】

# ぽぽだより

2007年 1月号

笑顔いっぱい

- 2007年もよろしくお願ひします

みなさんおなかをかかえて  
大笑~い(^^)(^^)(^^)  
たくさんの福が飛び込んで  
きました!!  
すごろくも、ハラハラドキド  
キ。今年も楽しく過ごせませ  
うように!!

2007年も NPO ぽぼハウス からは  
目が離せない! ご注目ください!!

新しい年が明け、早1ヶ月が経ちます。

いつもは(特活)NPO ぽぼハウスをご支援、ご利用いただきありがとうございます。昨年は指定管理者制度により、彦根市北老人福祉センターをお預かりして、元気な高齢者が集う場所作りを中心に、数多くのいきいきクラブ活動やティーンズサポート・滋賀県男女参画県民提案事業等いろいろな取り組みをしてまいりました。



また、あったかファミリーステーションは通所デイサービスの他予防介護通所デイを、児童デイサービスでは日中一時支援サービス等、門戸を広げて少しでも困った人達への手伝いができればとがんばってまいりました。

車輛部もでき、乗降介助や移動支援を行いヘルパー部でもより多くの人達のお手伝いをしたいと範囲を広げてがんばってまいりました。

今年は昨年以上に内容を充実し、利用者の皆さんに(特活)NPO ぽぼハウスを利用してよかったと喜んでいただけるようにがんばってまいりますので、ご期待いただきご支援と、より多くのご利用をお待ちしております。

< 理事長 山脇 吟子 >

2007年 新年の抱負 ~ ! ! !

今年は初心に戻り、自立支援を充実させることを目標に、利用者の方々のコミュニケーションをとりながら、ケアに力を注ぎたいと思います。

<ヘルパー部 平田>

親子で遊んでいる時に『お母さんの緊張がほぐれると子どもの表情がやわらかく。お母さんが楽しんでいると子どもの体がよく動く事』を実感しました。スタッフとして子どもに目を向けるだけでなく、子育てを頑張っているお母さんの力に少しでもなれるよう活動したいと思います。と同時に私自身が楽しむ事で、子ども達に楽しさを伝えたいと思います。

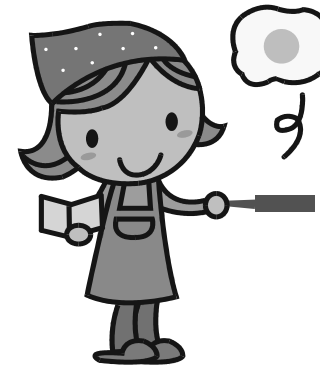
<子育て部 酒井>

今年の抱負

健康第一

安全運転です

<車輛部 林>



今年も食事担当9人が仲良くコミュニケーションをとりながら、互いにアドバイスしつつ、心を込めて皆さまに喜んで頂ける食事作りに頑張りたいと思います。柔らかさ・彩り・味の統一に気をつけながら、個人個人のレベルアップにも力を入れていきたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。

<食事担当 森>

今年の抱負として、今まで以上にぽぼひろばに笑い声が絶えず、高齢者の方々の気持ちをしっかり受け止めて、毎日楽しく過ごしてもらえるように職員一同がひとつにまとまりが頑張っていきたくと思っています。今後ともぽぼハウスをよろしくお祈りします。

<ぽぼひろば 栗原>

昨年は子ども達を取り巻く噂・ニュースが多数報道されましたが、ぽぼハウスに集う子ども達が笑顔で過ごせるように努めたいです。

「ぽぼに来て良かった、嬉しい!」と伸び伸びと遊び「安心できる自分の居場所だ」と確言してくれるお手伝い出来るようにとばかり頑張っています。 <児童スタッフ 山本>



本部事務局は、笑顔のすてきな(自意識過剰気味!?)の6名が交代で入っています。日替わりで事務所の顔が違うので、連絡ミスのないように、又、各部門の連携を図れるように、「目配り 心配り 心配り」をモットーに6名の力強いパワーを1つにしてがんばっていかれたらと思っています。今年も1年、よろしくお祈りします。

<本部事務局 三上>

(^\_^) ぽぼスタッフの“やる気”はみなぎるばかり・・・  
チームワークを大切にしながら精進していきましょうね!!

